



～すぐにでも どの教科でも 誰でも使える ICT をめざして～

個人用パソコンの状態確認をお願いします。



冬休み明け、既に個人用パソコンは学校に戻されているでしょうか。「これから」という場合もあるかとは思いますが、持ち帰りに係る通知でもお願いしましたように、長期休業明けには、児童生徒一人一人のパソコン本体及び電源ケーブルに破損等がないかを、各学級で必ず御確認ください。

小学校音楽の授業実践例を紹介します。



2022年最初の授業実践例として、小学校音楽の事例を紹介します。web アプリの活用により、児童生徒が「自身の試行錯誤の跡」を確認しながら学習を進めること等が可能となり、授業の目標達成に大きな効果が期待できますので、各教科での活用を御検討ください。

小学校音楽

つくった旋律を音で確認できる Web アプリ SONG MAKER の活用！

～音で試すことを繰り返しながら、表現を工夫し、思いや意図を膨らませよう促しましょう。～

5 年生「和音に合わせてせんりつをつくろう」での実践

本時のめあて：まとまりを意識して、8 小節のせんりつをつくろう

【見通しをもつ】

ド：「うん、合う！」
ミ：「まあまあ」
ソ：「え？！この後続きそう」

まとまりのある音楽をつくるために、どのような工夫をしたらよいか確認します。

- ・ 反復・変化
- ・ 終わり方

教師が **SONG MAKER** で作った旋律の最後の音を I の和音（ド・ミ・ソ）のどの音が合うか、それぞれ 1 回ずつ聞きます。

【音楽活動する】

「まずは旋律の繰り返しを使って作ってみよう。」

「少し作れたから再生して聞いてみよう。」

「やっぱり音を変えて、もう一度作ってみよう！」

まとまりのある音楽をつくるために、**SONG MAKER** を使って、音で確認しながら試行錯誤します。

【まとめ】

SONG MAKER で作った旋律を保存し、classroom に提出します。それぞれが作った旋律を大型スクリーンに映し出し、作った旋律を聴き、どんな工夫をしたのか全体で共有し、教師が価値づけます。

SONG MAKER では、

Point!



- ・ 冒頭の見通しをもたせる場面において、教師が作った旋律を使って、反復については旋律の動きを見せた上で、音で聞いて確認し、終わりの音については音で聞いて合う音を確認することで、まとまりのある音楽を意識しながら活動することができました。
- ・ 楽器の演奏が不得意な児童でも自分が作った旋律がすぐに再生できるため、試行錯誤しながら音楽を作ることができるとともに、旋律の動きが視覚的に捉えやすいため、反復や変化などを確認することが可能となり、聴覚だけでなく視覚も働かせながら音楽表現を工夫することにつながりました。

Google classroom では、

- ・ **SONG MAKER** で作成・提出した各自の旋律を全体で共有し、教師が価値づけることで、児童一人一人が友人の作品の良さと工夫を知り、自身の旋律づくりに活かすことができました。